

会議報告書	
会議名	令和8年度 草津市立教育研究所 第1回運営委員会
日 時	令和8年6月18日（木） 午後3時30分から午後5時00分まで
場 所	草津市立教育研究所 2階研修室
出席者	委員：7名（順不同） 中川 珠紀、宮嶋 貴憲、茶木 修一、鮫島 恵美 片山 恵泉、中嶋 忠男、柳澤 誓子 教育研究所：16名 所長：野阪 智子 副参事：青木 努 指導主事：三品 友博 研究員：佐竹 二三也 相談員：宮地 均、石井 千鳥 指導員：武内 昭遵、小出 康子、角 玲子 松本 千万、藤井 弘美、山口 優子 スキルアップアドバイザー：清水 康行、山崎 賢、仲野 忠克、糠塚 一彦
欠席者	委員：3名（順不同） 糸乗 前、菊池 誠、勝部 遥介 教育研究所：2名 副参事：津村 祥枝、石田 綾
運営委員会の関連資料 ☒ 有（別添のとおり） ☐ 無	
記録作成者	草津市立教育研究所 研究員 佐竹 二三也

指導主事 ただいまより、令和8年度草津市立教育研究所第1回運営委員会を始めます。

運営委員の皆様方には、公私ともご多用のところご出席いただきましてありがとうございます。

会議の開会にあたりまして、本日開催の運営委員会は、委員総数10名のうち、7名の出席をいただいておりますので、草津市立教育研究所規則第8条第7項により、会議が成立していることをご報告いたします。

はじめに、草津市立教育研究所長が御挨拶申し上げます。

所長 開会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

日頃は、本市教育の振興に格別のご支援、ご理解をいただき、誠にありがとうございます。また、本日は、御多用のところ御出席いただきまして誠にありがとうございます。

この後、研究所の事業概要について詳細を説明いたしますが、昨年度からスタートしました草津市教育振興基本計画第4期の基本施策に沿って教育活動の充実を進めてまいります。中でも「不登校児童生徒への支援の充実」としま

して、やまびこ教育相談室の機能強化を図り、2月にやまびこ野路教室が開室したところでございます。また、「教職員の指導力とチーム学校の指導体制の充実」としまして、スキルアップアドバイザーによる支援と ICT 機器の活用力の向上、教職員の研修講座の充実、弁護士や精神保健福祉士等による学校サポートチームの拡充を重点においております。これまでの経験を生かしながら、関係各課とも連携し、取り組んでいきたいと考えております。

今年度の教育研究所の事業や取組が一層有効かつ実効的なものになり、本市の教育がますます充実・発展いたしますよう、運営委員の皆様からの忌憚のない御意見をお願い申し上げます、開会にあたりましての御挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

指導主事

本運営委員会ですが、傍聴席が設けられますことと、会議の内容が草津市ホームページで公開されますことをご了解くださいますようお願いいたします。

会長・副会長の選任

次に、本日の資料16ページをご覧ください。草津市立教育研究所規則を掲載しております。第8条第3項に『運営委員会に、会長及び副会長をそれぞれ1人置き、委員の互選により選出する』とあります。これに則り、会長、副会長の選出をお願いしたいと存じます。どのようにさせていただいたらよろしいでしょうか。

委員

事務局のお考え等はございますでしょうか。

指導主事

事務局案でございますが、会長には、平成30年度より運営委員を務めていただいております、前年度の会長でもある糸乗委員に引き続きお願いしたいと考えております。先日、欠席のご連絡をいただいた際に打診いたしましたところ、本日ご出席の皆様から特にご異議がなければと、ご快諾いただいております。副会長には、校長会の代表として御参加いただいております、菊池委員にお願いしたいと考えております。菊池委員におかれましても、同様に、事前にご快諾をいただいております。

つきましては、このご提案にご賛同いただけます委員の皆様は、挙手をお願いいたします。

(挙手の確認)

挙手多数でございます。つきましては、新年度の運営委員会会長は糸乗 前委員、副会長は菊池 誠 委員に決定いたしました。

糸乗新会長および菊池新副会長は、本日も欠席でございますため、本日の議事進行につきましては、臨時の議長を選出する必要があります。本日の議長

として、宮嶋委員にお願いしたいと思います。宮嶋委員、誠に恐縮ですが、議長席へのご移動をお願いいたします。

議長

議事進行承りました。

では、次第４ 今年度の事業概要の説明を事務局よりお願いします。なお、①から⑤までの項がありますが、一括の説明をお願いします。

令和８年度事業の実績と課題について各担当者より説明

※別紙資料に沿って説明

①事業概要について（指導主事）

②研修事業について（指導主事）

③調査研究に関する事業について（研究員）

④教育相談に関する事業（やまびこ教育相談室）について（指導員）

⑤スキルアップアドバイザー配置事業について（スキルアップ指導員）

⑥その他（指導主事）

議長

説明のほど、ありがとうございました。では、これより質疑に入ります。たくさんご説明いただきましたが、委員の皆様からはご意見、ご質問、ご感想など合わせてお願いします。

委員

生成 AI についての質問ですが、今年度の研究は市内の先生方にアンケートを取るだけでしょうか。

所長

研究のため、事前アンケートを取り終えた段階です。今後、ディスカッション形式で市内研修を行い、その内容を今年度の研究内容としてまとめます。また、草津市では校務で教員が使うことは認めていますが、授業の中で児童生徒がどのように使うかは検討している最中です。

今後、草津市が生成 AI の有効活用を図るうえで、役立つ研究にしたいと思って取り組んでいます。

委員

AI のセキュリティに関して詳しい方はいますか。

所長

児童生徒が AI を使用するうえで、セキュリティは切り離せないものです。そのため教育委員会には、学校政策推進課といった専門の課がありますので、そちらとも連携して研究を進めているところです。

委員

学校政策推進課では、一括管理を行っています。セキュリティに関しては外側からだけではなく、内側から崩すこともありえるのでセキュリティ面やリテラシー面に関する取組を進めています。

昨日、授業研究会を校内で行いました。その研究会をする前に、教員からの意見を集め AI を利用してまとめたので非常に効率的、効果的に研修会を実施

できたと感じています。

議長 今、調査研究についての話題が出ました。他の委員はどうでしょうか。他の内容でも構いません。

委員 私の専門外なので先生方のことについてわかってなかったのですが、授業以外でこんなにもやってくださっているのに感心しています。そのうえで、一つ関心をもったところがやまびこ教室についてです。疑問点が2つあります。まず1つ目は、「近年、児童生徒は増えているのか。また、その児童生徒は学校の教室復帰をできているのか。」次に2つ目は、「地域で実施されている民間の教室等とは連携はしているか。」といったことです。

所長 教育委員会は、児童生徒の居場所に対して「学校だけではない」と捉えています。小中学校の中でも、登校支援室を設置しました。また、教育研究所でもやまびこ野路教室を開室したことで、その効果が見えてきています。昔は家からやまびこ教室までの距離を懸念して来られなかった児童生徒がいましたが、草津市に3つ教室があるおかげで今は来られるようになっているケースもあります。地域で実施されている民間の教室等との連携ですが、副参事より現在の状況を報告してください。

副参事 フリースクール事業者から、市役所と協力して新しい事業をしたいと相談を受けています。今後、打ち合わせを行うためどのような取組になるか未定ですが、「不登校児童生徒の保護者が集まれるような場」を作る計画を検討しておられるようです。

委員 学校だけが居場所ではないです。いろいろな場所に居場所があることで、子どもたちにとってもよい。民間側の活動が活発になってきているが民間のフリースクール等に専門性があるとは限らない。居場所を作るのは得意だが、教育になると専門の先生ではないため、連携していくことが重要だと考えています。

委員 このような取組のおかげで、それぞれに枝葉があって、全体がつながっていくことのよさを感じた次第です。

新しい場所が開所したということで今まで行きたいと思っていた子どもたちがいけるようになってきたということもあるんですね。

所長 保護者の送迎が一つの大きな課題でしたが、働きながらも通えるところにあるというのが望ましいです。そのため、教室を3つにしたことによって通えるようになっています。

議長 そのほかにいかがでしょうか。

委員 やまびこ教室だけではなく、草津市全体で引き継ぎや連携に関する定期的な

会議などはありませんか。学区内ではあると思いますが、市全体はどうですか。

所長 例えば、保幼から小学校へ行く引継ぎや小学校と中学校との連携を図るためのグレードアップ連絡会議を行っています。中学校と高校も連携しています。そのような場をもつことでお互いの情報を共有しています。

指導主事 特に、夏期研修においても、保幼から小学校の引継ぎは大事に思っているの
で、その研修も大切にしています。教職員が合同で研修しています。

委員 私自身が長く教員をしていたので授業などでとても忙しいということがわかります。研修が放課後にあって研修に参加したくても、なかなか参加できないこともありました。研究所の先生方もお忙しいとは思いますが、もし、研究所の先生方が各学校に回ってもらって研修をしていただけたら嬉しいと思うし、私は本当にありがたいと思っていました。簡単には実現できないかもしれないけれど、学校全体で研修をしていただけたらと思います。このような検討はいかがでしょうか。

所長 教育委員会で行うものと校内独自で行うもの両方が大事だと思います。現在、各学校でも講師をお招きして取り組んでいます。それぞれの職員集団で共通理解を図りたいものを中心に行っています。学校教育課では法定研修を行っています。そして、教育研究所では、各校では設定しにくいような今日的な課題を設定して研修を行っています。例えば、今年度でいうと、ウェルビーイングについて実施していく予定をしています。これは市の施策と関連付けてテーマ設定をしています。これらの研修を、夏休みなど長期休暇を用いて草津市全体で継続的に行っています。

委員 自己啓発講座を3つ予定しているとご説明いただきましたが、人数を増やすために、このような手立てを打ってみようという工夫はありませんか。

所長 委員の皆様から意見をいただけたらありがたいです。今年度の1つのテーマとして、若手の教員に講座を担当してもらうことによって若手教員の参加率をあげたいと考えています。

委員 ハイブリッドの研修をしていますか。

指導主事 昨年度はできませんでしたが、秋の展覧会に向けての図工の授業では「どのように指導すればいいかわからない。」などの疑問のお持ちの先生方がいれば、ハイブリッドに限らず、教員が実際に体験できるほうがよいと思われます。

委員 委員がおっしゃったようなハイブリッド研修もいいと思います。例えば、研修内容によっては、アーカイブ形式にしてもいいのではないのでしょうか。動画を撮りためてくれると、今後教員が誰でも見える。教育研究所にはスキルアップや相談員の先生たち等様々な分野の方がおられるので人的なリソースがあ

と思いますが、各校に出向くのが難しいならば、アーカイブ形式もいいかもしれないです。

委員 15:50から始まる1時間の研修を受けるために、往復で30分程度も移動に時間をかけないといけないのはもったいないのではないのでしょうか。例えば、20分講座を何コマもするとか時間外にも行うとかはどうでしょうか。ただ、私自身実情を知らないので失礼なことを言っていたら申し訳ないと思います。

議長 いろいろな意見が出てきましたので、これらの意見から取り入れられそうなものがあればご検討ください。

それぞれの研修は、どの程度の人数が来られていますか。

所長 40人から120人程度で行っています。昨年度の研修の延べ参加者は1000人程度でした。

委員 アーカイブにしてもらうのはよいと思いました。教員仲間から研修の内容を聞いたとして、全部を聞けるわけではないため、実際に自分で見られるのがよいと思います。

委員 今年は不登校が少なくなったが、保健室はいっぱいになっている、とある校長先生から聞きました。そのため、学校には来るが、教室には入りにくいこどもがいるのではないかと感じました。そこで、不登校にも質の変化が起きているのではないかと感じました。そのため、最近はどのようなことが起きているか聞きたいです。もう一つの質問は、「午前5時間制」について、保護者への配慮はたくさんしたでしょうが、教員の方への配慮は大丈夫なのでしょうか。5分短くなったことで、教員は困っていないのでしょうか。実際見に行った時には、先生方は大変苦労されているように感じました。

委員 「不登校の質の変化」についてまずは答えてください。

委員 委員の話に関連して不登校の統計は取っているのかについても聞かせてほしいです。また、不登校の原因についても教えてほしいです。

委員 つかみきれていない統計や原因などもあるかもしれませんが、わかる範囲内で答えてください。特に、「やまびこ教室を通して」といった部分でお話していただいてもよいと思います。

所長 登校支援室が各校にできた効果は大きいと感じています。音に過敏で教室が騒がしくて入れない等、さまざまな原因がある中で、各校にできたおかげで居場所づくりにつながっています。

次に、登校支援室の活用率があがっています。その結果として、やまびこ教

室に来る率は少し減っていると感じています。

指導員 不登校といわれると、完全に「学校に行かない」というイメージがあるが、やまびこ教室に来ている児童生徒は、学校にも行きつつ、やまびこにも通うというケースが多い印象があります。登校支援室の在り方や環境は、各校によって異なるため、その特徴に応じて児童生徒が使用しています。

相談員 全国的に見たら不登校児童生徒は増えてはいます。本教室に関しては、6月、10月、2月など、タイミングによって来所する児童生徒の人数が大きく異なりますが、昨年度と単純比較をすると減少傾向にあるように感じます。やまびこはやまびこでできる努力をして、学校は学校でできる努力をしています。

所長 やまびこ教室では、中学校の生徒のほうが、人数が多いです。小学校か中学校かによって、活用する場所が異なるかもしれません。

指導員 中学生は自分ひとりで来られるため、やまびこの利用が多いのかもしれないです。

委員 本日お願いしたいことは、「数字だけにとらわれず、児童生徒の質」もきちんと見たうえで取り組んでほしいということです。

議長 委員からいただいた、「午前5時間制で困っているかもしれない。」と仰っていただきましたが、スキルアップの先生方が各校に回ってくださりご指導いただく中で、何か感じておられることはありますか。

スキルアップ
アドバイザー 草津市が十分に「午前5時間制」を検討したうえで変更したものと受け止めています。そのため、教職員の先生方のご苦労は感じますが、時間だけに追われてはいけないとも思います。中央教育審議会でも指導書通りだけ…、教科書を追いかけるだけ…ではいけなくて、授業をマネジメントしないといけませんと言っています。その中で、「何をめあてにして、何を児童生徒に身につけていくのか。」ということを重視してやってくれているように感じています。

委員 最近、「授業時間についてどうなっているのか」について学校に聞いてほしいと知人に言われました。学校は柔軟に時間をコントロールできていますか。

委員 現在、私が在籍する学校では、20分間の学びタイムに取り組んでいます。授業が5分短縮していることを懸念していただいていたしましたが、教育は変化してきていて、ハード面でいうと ICT 機器やデジタル教科書、タブレット等が導入されています。また、ソフト面でいうと、スキルアップをはじめ様々な支援があります。5分短縮したことで児童や教員にとって、様々なプラス面もあるように感じます。40分になったからこそできることも増えたので、一方的に短縮授業が悪いのではないと感じています。

議長 議事が始まって、1時間程度経ちますが、そのほかの委員の方ご意見ありましたらよろしくお願いします。

委員 先生方がご尽力いただいているので草津市の教育は質が高く充実していると感じています。ただ、その反面、気になることとして、草津市の先生方の働き方が大丈夫なのかと心配している思いもあります。

所長 教育研究所の研修にも、「働き方改革」をテーマにすることがあります。市全体としては、ICTを使ったり研修を実施したりして働き方の改革を行ってこうとしているところです。

委員 社会教育としては、スクール ESD を学校で進めてもらって、地域主体で学びを深めるといった意味だと思いますが、地域の方々が高齢化しており、受けてもらえる方がおられなくなりつつあります。また同様に、学校の PTA が解散されて受け手がいないのが現状であると思います。

そこで、学校とまちづくり協議会との関わり方において、きちんとコミュニケーションをとれているのかについて気になります。担任をされている管理職ではない先生方が地域とつながれていないような気がします。

所長 それぞれの学校に学校運営協議会があって、学校全体としては取り組んでいます。担任をされている教員も同様に、市役所のそれぞれの課に協力を得ることで、ESD 等の事業を展開していくことができていると一教員として感じています。

委員 学校には地域コーディネーターがいるためその方々の協力も得ることができています。

議長 他に、ご質問、ご意見はございませんでしょうか。

では、令和8年度事業計画について、ご承認いただける方には、挙手をお願いします。

(挙手の確認)

議長 挙手が出席者の過半数を得ましたので承認いただいたものとします。皆様のご協力により、議事を終えられたことに感謝申しあげます。進行を事務局にお返しします。

指導主事 ありがとうございます。では、次に連絡事項を申しあげます。

次回、第2回の運営委員会は令和9年2月4日木曜日の午後3時30分より予定しております。ご予約のほどよろしくお願いします。

それでは、閉会の挨拶を、草津市立教育研究所長が申しあげます。

所長

本日は皆様大変ご多忙の中、第1回運営委員会にご出席いただき、誠にありがとうございました。皆様の活発なご審議と、多角的なご意見のおかげで、全ての議事を滞りなく進め、無事にご承認を賜ることができました。心より感謝申し上げます。本日いただきました貴重なご意見は、本年度の運営における大きな糧として、今後の事業推進に誠実に反映させてまいる所存です。引き続き、皆様からの温かい支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

指導主事

これで閉会となります。どうぞ、お気をつけてお帰りください。この後、当施設の案内をさせていただきます。お時間がございましたら、御参加ください。